

令和三年度

事業報告書

社会福祉法人あゆみの会

# 1. 総論

## (1) 法人の保育について

令和三年度は認可保育園4園、企業主導型保育所1園の5園全体で、約150名の職員が約350名の園児の保育を行った。

## 1) すまいる委員会について

各園を横断する「すまいる委員会」について令和三年度は5部会・14委員会とした。毎月各園の委員が集まり、委員会にて実践報告や提案を行い、その成果を各園の保育に反映した。各委員会の活動成果については、別添する。

### ① 令和三年度すまいる委員会



部会名	委員会名	主な活動
保育部会	0～1歳児委員会 1～2歳児委員会 3～5歳児委員会	0～1歳児の保育計画や活動、課題を共有 1～2歳児の保育計画や活動、課題を共有 3～5歳児の保育計画や活動、課題を共有
研修部会	研修委員会 保育環境委員会	研修計画の作成、外部講師打合、課題抽出他 保育者の自己評価・園の評価のとりまとめ
安全部会	安全委員会 看護委員会	安全対策、マニュアル・方針の作成 看護師による衛生・けが、疾病等について
食育部会	保育食育委員会 厨房食育委員会	保育士による保育の中での食育計画、実践 厨房担当者による献立、調理方法他
総合部会	保護者委員会 地域委員会 オンライン委員会 事務委員会 内部監査委員会	保護者支援について 地域支援・ひろば活動について ICTの活用、HP、SNS、資機材の選定・購入 各園の事務のルール、共有化 内部監査、人権擁護、ハラスメント防止等のエンブライアンス

## ② すまいる委員会のアドバイザー

子ども教育宝仙大学保育学科准教授 富山大士先生（保育アドバイザー）

- ・ 法人各園を保育環境評価ツール ECARS (Early Childhood Environment Rating Scale) により、保育者とともに保育・保育環境を振り返るウォークの日と同行、巡回指導をいただく。
- ・ 汐見稔幸先生主宰「臨床育児・保育研究会」の事務局、キャリアアップ研修の講師や私立保育園連盟の研修部と連携するなど、全国の優良園や研究者と幅広いネットワークを有している。
- ・ 当アドバイザーより国内外での特筆する保育実践や園見学や連携、法人の園内研修の際のテーマ別の講師の紹介等、新卒保育士の採用等、幅広い支援をいただいている。

一級建築士・子ども環境アドバイザー・株式会社 Integral Design Studio

代表 井上寿先生（保育環境アドバイザー）

- ・ 井上先生は子どもの発達のための環境整備の第一人者の一人である設計士仙田満先生の環境デザイン研究所において長らく設計士として勤務を担当。
- ・ 汐見稔幸先生主宰「ぐうたら村」理事、文科省の施設整備指針の策定等に関わるなど学術的な研究も多く、全国の多くの園からの依頼により園庭、保育環境の改良整備を行っている。
- ・ 法人各園の子どもたちの保育環境を整備するため、保育者（保護者の方）とともに、環境整備のワークショップにおいてロフトやブランコ、すべり台等を制作するなど、園庭や保育室の保育環境を整えている。

発達アドバイザー（チャイルド・ケア・ウェブ）

- ・ 園児の発達の確認のため、クラウドサービスのチャイルド・ケア・ウェブを使用。
- ・ チャイルド・ケア・ウェブの発達のメカニズムを監修している臨床心理士、チャイルドフットラボ代表の藤原里美先生に同サービスを經由して、発達に関する個別事例への対応について質問をすることが可能。
- ・ 藤原里美先生に法人内研修を依頼、講義・個別相談を受けています。
- ・ 令和4年度より保育者・保護者の方のための発達個別相談、園職員のメンタルコンディション、日本で暮らす外国の方の園児支援等を行っている臨床心理士・NPO 法人 HATI JAPAN 代表、臨床心理士東谷千佐子先生の就任を予定。

## ③ 課題

委員会で合意・決議された事項について、周知が行き届いていない場面があり、園でローカルなルールが採用されるケースがあった。

委員会間での課題調整、担当などが円滑に進まない場面があった。

オンライン委員会は複数の委員会に関係するため、整理が必要。

## ④ 令和4年度に向けて

委員会での決議事項に関する各園への周知方法を、部会長通達などの形で明確化する。

各園の部会委員会の合議事項の取り組み状況について、内部監査の確認項目とする。

令和4年度に向けて委員会を整理・統合する。

⑤ 令和4年度部会委員会案

部会名	委員会名	主な内容
保育部会	01委員会	0～1歳児の保育について
	12委員会	1～2歳児の保育について
	35委員会	3～5歳児の保育について
安全部会	安全委員会	子どもの安全力の向上、安全な保育環境
	看護委員会	けが・疾病、衛生管理について
食育部会	保育食育委員会	保育活動における食育活動
	厨房食育委員会	厨房業務・献立
研修部会	クオーレ監査委員会	保育環境の確認・内部監査・指導監査対応
	研修自己評価委員会	研修計画・自己評価のとりまとめ
総合部会	ガイドライン作成・人権委員会	各ガイドライン作成・ハラスメント防止
	子育て支援オンライン委員会	保護者への情報発信
	事務オンライン委員会	事務の合理化・オンラインの活用
	地域委員会	ひろば・地域支援・地域連携

3) 園舎・園庭の環境設定について

① 令和三年度 保育環境アドバイザーによる園舎・園庭整備

開催日	開催場所	ワークショップ内容
6月10日	鶴ヶ岡すまいる保育園	園庭滑り台、01歳児用のロフト設置
7月15日	高階すまいる保育園	0歳児クラスウッドデッキ、01歳児用ロフト
11月4日	三丁目すまいる保育園	12歳児用室内ロフト
12月3日	伊佐沼すまいる保育園	01歳児用ロフト、園庭遊具



伊佐沼ロフト01歳児ロフト



高階3歳以上児用ロフト



鶴ヶ岡3歳未満児ロフト



鶴ヶ岡園庭滑り台



三丁目3歳未満児ロフト



高階3歳未満児ウッドデッキ

## ② 保育環境ラボの取り組み

令和3年度より、富山アドバイザーの発案の下、発達に適した保育玩具・環境を若手保育士を中心とした自主勉強会「保育環境ラボ」がスタートした。瀧薫先生「保育とおもちゃ」高山静子先生「保育環境の理論と実践」をテキストに玩具・遊具、保育環境について学び、各園の保育環境を整備した。

### \* 園舎内の緑視率、生き物、自然を取り入れる環境（鶴ヶ岡）



水槽や虫かご、ビオトープや観葉植物等、緑視率をあげています

### \* 遊びのコーナー（鶴ヶ岡すまいる保育園）

		
ブロック遊び	感覚統合援助の玩具	発達に合った玩具
		
カプラ（となりすまいる）	机上遊び（鶴ヶ岡）	文字コーナー（鶴ヶ岡）

#### 4) 法人の主な研修・勉強会等

研修名	講師名	研修内容	開催日時
第一回合同研修	藤原里美先生	要支援児の発達支援	5月8日
第二回合同研修	長谷川京子先生	わらべ歌の研修	11月27日
第三回合同研修	法人講師	虐待人権・個人情報	2月26日
パプフレネの会	けやの森学園	フレネ教育研究会	6月5日、9月11日 2月5日
身体発達研究会	根ヶ山光一先生	発達理解	6月26日、9月4日、 11月6日、3月12日
クオーレの日	富山大土先生	保育評価スケールによる保育環境の確認	5月28日、6月25日 7月30日、9月14日 10月26日、11月24日 12月13日、3月22日
ワークショップ	井上寿先生	保育環境整備	6月10日、7月15日 11月4日、12月3日
保育ラボ	法人勉強会	保育環境・遊具玩具	8月26日、9月24日 10月28日、11月25日 12月23日

#### 5) オンライン化について

登降園管理をアイパッドによる打刻管理に変更するため、保育アプリ「コドモン」を導入。勤怠管理については、タイムレコーダーの試験運用を行ったが、変形時間労働制への対応が難しく導入には課題が残る結果となった。就労者が160名となり、採用・異動・退職に伴う社会保険、労働保険や年休管理など人事関連の業務が増加しており、令和4年度の導入に向け労務管理ソフトの導入に向けた調査を行った。

#### 6) 施設指導監査について

本年度は川越市指導監査（7月27日高階すまいる保育園、伊佐沼すまいる保育園）、埼玉県指導監査（9月6日鶴ヶ岡すまいる保育園）、児童育成協会・企業主導型保育所オフサイト監査（7月28日となりのすまいる保育園）、埼玉県三丁目すまいる保育園書面監査が行われた。各施設とも特段の指摘はなく、社会福祉法人、認可保育園、企業主導型保育園のルールに従い問題なく運営されていることが確認された。同時に行政監査項目（自主点検表）に基づく法人内監査を法人園全園で実施、職員一人一人のルールや書類の整理について意識の向上を図った。また自己評価ガイドラインを基に保育所による保育内容の評価、保育者の専門性や職員間の協働性を高めていくための取り組み（保育者による保育内容の評価）を行った。保育者自己評価チェックリストにより年間2回のチェックを実施、すまいる保育アドバイザー（富山先生）と姉妹園の委員にて保育環境評価スケールを用い各園の保育環境を確認、修正点等をフィードバックし各園で改善した。

## (2) コロナウイルスへの対応について

昨年度に引き続き新型コロナウイルスへの対応に追われた。園では行事等に対する保護者アンケートを実施、親子ふれあい遊び会やウインターフェスタ、夏祭りや秋祭り等、クラス単位で時間をずらし開催したり、参加人数を制限、リアルタイムで行事の様子を配信するなど、密を避けつつ、工夫をし行事を行った。ハロウィンや地域行事への参加などについては本年度も中止となった。

理事会、保護者懇談会、施設間を横断する部会委員会等の会議については ZOOM を使用した。また行事の様子や登園自粛の園児に対し Youtube 等を使用し動画情報を発信した。空気清浄機の導入、スチームクリーナー、アルコール消毒の徹底、玩具用殺菌庫、清掃、検温、来園者の管理やコロナ発生時のシュミレーション・マニュアルを作成、職員の意識向上と感染防止に努めた。

しかし、令和4年2月後半から3月にかけて、オミクロン株の感染が広がり、園児に対する感染者・濃厚接触者が広がり登園自粛が相次いだ。オミクロンの特徴として、濃厚接触となった園児が自宅で発熱発症するケースも多く、家族から感染するケースも目立った。また職員の感染も広がった。幸い重篤化するケースはなく待機期間終了後、元気に再登園している。また濃厚接触者の特定のため、食事の風景や遊んでいる状態を写真に記録した。インフルエンザや手足口病、ヘルパンギーナなど他の感染症については例年に比べ、少ない結果になった。

## (3) 本部機能の充実について

事務委員会により人事・経理・総務について、園と本部との連携を深めた。園の事務担当者が本部事務を体験するなど、相互交流を行い、双方の理解を深めた。

## (5) 公募提案の採択について

法人による都内公立保育園民営化園の公募提案が採択され、令和4年度、5年度の2年間を開園の準備期間とし、令和6年4月の開園を目指すこととなった。公立園の引継ぎ、行政・保護者の方との信頼醸成、職員採用、園舎建設等をしっかり進めていく。

## ● 委員会の開催状況

委員会	場所	開催状況
01委員会	各園 Zoom研修	4/24, 5/26, 6/23, 7/29, 8/27, 9/29, 10/25, 11/26, 12/24, 1/28, 2/22, 3/23
12委員会	各園 Zoom研修	4/24, 5/26, 6/23, 7/29, 8/27, 9/29, 10/25, 11/26, 12/24, 1/28, 2/22, 3/23
35委員会	各園 Zoom研修	4/24, 5/26, 6/23, 7/29, 8/27, 9/29, 10/25, 11/26, 12/24, 1/28, 2/22, 3/23
安全委員会	各園 Zoom研修	4/13, 5/18, 6/8, 7/14, 8/17, 9/13, 10/12, 11/16, 12/14, 1/17, 2/7, 3/7
看護委員会	各園 Zoom研修	4/14, 5/18, 6/7, 7/13, 8/17, 9/13, 10/12, 11/8, 12/14, 1/17, 2/7, 3/7
保育食育委員会	各園 Zoom研修	4/22, 5/20, 6/17, 7/16, 8/19, 9/9, 10/14, 11/11, 12/9, 1/13, 2/18, 3/18
厨房食育委員会	各園 Zoom研修	4/22, 5/20, 6/17, 7/16, 8/19, 9/9, 10/14, 11/11, 12/9, 1/13, 2/18, 3/18
保護者委員会	各園 Zoom研修	4/19, 5/17, 6/21, 8/4, 9/8, 10/8, 11/18, 12/10, 1/13
地域委員会	各園 Zoom研修	4/16, 5/25, 6/17, 7/9, 7/9, 8/20, 9/10, 10/12, 11/12, 12/17, 1/14, 2/18, 3/11
研修自己評価委員会	各園 Zoom研修	4/13, 15, 5/18, 6/8, 7/12, 8/23, 9/27, 10/11, 11/8, 12/14, 1/17, 2/14, 3/8

クオーレ・スケール	各園	5/28, 6/25, 7/30, 9/14, 10/26, 11/24, 12/13, 3/22
内部監査	各園	高階7/9・となり7/12・伊佐沼7/13・鶴ヶ岡8/3, 三丁目10/6

● 指導監査の状況

伊佐沼すまいる保育園	7月27日	川越市	指導監査	口頭指摘2件
高階すまいる保育園	7月27日	川越市	指導監査	口頭指摘2件
となりのすまいる保育園	7月28日	児童育成協会	オフサイト監査	特記事項無し
	6月1日	ふじみ野市	書面監査	指摘事項無し
鶴ヶ岡すまいる保育園	9月6日	埼玉県	指導監査	口頭指摘1件
	9月6日	ふじみ野市	実施指導	指摘事項無し
三丁目すまいる保育園	11月22日	埼玉県	書面監査	指摘事項無し

(6) その他

1) 理事会

令和3年6月4日、19日

令和3年12月25日

令和4年3月26日

2) 評議員選任委員会

令和3年6月18日

2) 定期評議員会

令和3年6月19日

以上

## 2. 各 論

# 令和3年度 伊佐沼すまいる保育園 事業報告書

## 1. 令和3年度 総括

今年度は昨年度から続く新型コロナウイルスの感染に伴い、感染対策を徹底しながらの保育となった。検温や1日3回の消毒、おもちゃ消毒、換気については、日々の業務の中で保育者の役割を決めて対応した。子どもたちの生活は基本的には変えずに保育してきたが、食事場面では時間の幅を設けるだけでなく、テーブルの数や配置にも配慮し、また、未満児の午睡では布団で眠る際に子どもの頭と足が交互になるよう寝かせるといった工夫をした。

昨年度末から園内のリフォーム工事が始まり、園内の床と壁を全てきれいにし、扉も交換した。また、2階テラスをウッドデッキにし、タープも設置したことで、日差しの強い日でも日陰を作って快適に過ごせる環境となった。遊びだけでなく、秋にはテラスで食事を摂れるようになり、開放的な空間で食事を摂れるだけでなく、とても気持ちも良く食育にもつながった。保護者玄関前には、大きな「掲示板」とドアを設置したことで、子どもが急に玄関から飛び出すというリスクが軽減し、安心して見守れるようになった。設備としても、廊下や玄関ホールに扇風機やエアコンを設置し、また、相談室も広げたことで休憩も取りやすくなり、子どもだけでなく保育者にとっても働きやすい環境となったと思う。玄関や2階テラスにはルーバーが設置されたことによって、園舎の外観も落ち着いた雰囲気となった。

### 【園舎リフォーム】



保育園外観



玄関ホール



保護者掲示板



2階ウッドデッキ



相談室・休憩室



職員玄関アプローチ

12月にワークショップを行った。ワークショップを迎えるにあたってはプロジェクトチームを作り、定期的に話し合い、また、保護者とのコミュニケーションを楽しめるように設置したコミュニケーションボードにて「どのような環境が良いと思うのか」意見を聞きながら進めていく。園だよりなどにて保護者のワークショップへの参加を呼びかけ、園内研修でのワークショップについての話し合いに1組の保護者が参加してくれた。話し合いでは、土台などでの子どもの遊び方に不安を感じることやどのような環境が良いのかなど保育者と一緒にディスカッションを行った。保護者からは、「先生たちも同じように不安に感じていること」「子どものことを考えてくれていること」などといった意見が聞かれたが、子どもが楽しめる環境を大切にしたいという想いで一致し、未満児の部屋のロフトと園庭の土台の上にお家を作ることになった。

ワークショップには、話し合いにも参加した保護者が家族で参加してくれた。木材の切り出しや組み立て、築山の土留めなど職員とコミュニケーションを取りながら一緒に環境整備をすることができた。保護者の感想からは、話し合いから参加できたことで保育者の想いを知ることができ、また、子どもが育つ環境を一緒に創ることができたことは貴重な体験となったこと、これからも積極的に参画していきたいといったことが聞かれた。

今年度は、少しずつ保護者を巻き込んでいきたいという想いから、茶話会をはじめ、園だよりも保護者のコラム欄を作るといった取り組みをしてきた。現状は、茶話会の参加者も少なく、課題も多いと感じるが、このような取り組みの積み重ねが保護者の理解を深めるきっかけになればと思っている。また、ワークショップに参加してくれた保護者の感想にあったように、これからも継続して参加したい、携わっていきたいという保護者がいること、そしてそのように一緒に子育てをできる仲間が増えてきたことは来年度以降に繋がる大きな一歩となったと感じている。

今後も保護者とともにより良い園づくりに取り組んでいきたいと思っている。

### 【園庭環境整備例】



未満児用ロフト



築山の土留め





### 延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	0	1	9	8	4	5	5	19	15	12	12	12

### 3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:30	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:30～16:30		最大 8 時間	
夕方延長	16:30～18:00		有 料	土曜日は無し
有料延長	18:00～19:00	有 料		

### 4. 職員

#### 3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	11人	保育士	11人	看護師	0人	栄養士	1人
パート職員	15人	保育士	8人	看護師	1人	栄養士	1人
調理員	3人	嘱託医	2人				

#### 職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍総数	31	31	31	31	31	31	28	28	28	28	28	28	354
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち保育士正規	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	102
うち保育士パート	8	8	8	8	8	7	6	6	6	6	6	6	83
うち看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち調理員	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	47
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち子育て支援	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
うち産休育休	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
うち保育補助	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	54

## 5. 運営報告

### (1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

### (2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を通した命の営み」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む 保育と給食の一体化を目指して、栄養士、調理員、保育者が連携する
地域 WT	地域ともに育ちあえる保育を目指して、地域との交流を深める

## 6. 保育・処遇

### (1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と保育内容や環境について共有し、適宜、悩みや戸惑いに寄り添うよう努めた。特に環境についてはプロジェクトチームを立ち上げ、職員間の対話を重ねながら子どもにとってより良い環境とは何かなど考え、想いを形にするよう心がけた。</li> <li>・職員とは定期的に個別面談を行った。</li> </ul>
保護者面談および発達相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の子どもの状況を共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える場を設けた。また、保護者・保護者の悩み等は、適宜個別面談を行い、子育ての不安を解消した。</li> </ul>
園児の保護者への支援および意見要望への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の連絡帳や口頭による要望、ご意見箱に投函された書面、保護者会役員からの質問等にはその都度対応した。連絡帳などに書ききれない内容は直接やりとりする場を設けた。</li> <li>・保育参加の際に出た意見については、職員間で共有し改善できることはすぐに対応した。また、卒園後の子どもの姿について不安に感じるという意見があったため、卒園児の保護者でもあるお母さまに園だよりに掲載するコラムを書いてもらった。園からの発信だけでなく、保護者同士の対話、意見交換などの場を作ることを大切にしていきたい。</li> </ul>

### (2) 年間行事の振り返り

今年度の行事については、7月の夕涼み会までは保護者参加は見送り、園内で子どもと保育者による行事とし、子どもの様子については動画配信を行った。10月の親子触れ合い遊び会では、保護者からのアンケートをとり、保護者の意向も汲み宙グループのみで保護者と一緒に楽しむ形をとった。アンケート結果からは、コロナ禍となり昨年度からほとんどの行事が中止となっていたことから、少しでも参加したい、子どもの様子が見たいという保護者の強い想いを感じた。計画としては高階すまいる保育園との合同開催を予定していたが、コロナ禍であることや

農業ふれあいセンターの改修工事の為、自園で開催することにした。久しぶりの保護者と共に楽しむ行事であった。行事内容も「一緒に楽しむ」をテーマに保護者対保育者といったイベントを多くしたことで、本当に笑顔の多い行事となった。

ウィンターフェスタにおいても、保護者からアンケートをとり開催の有無や方法などを一緒に考えた結果、保護者2名までという制限を設けたが午前と午後に分けて全グループの保護者参加で行った。行事の中で保護者と会話をしたり、親子で関わる様子をゆっくりと見るのができたが、改めて直に目と目を合わせながらコミュニケーションをとることの大切さを感じた。

来年度以降、どのような形で行事ができるのかはわからないが、保護者からも意見を聞きながら一緒に考えていきたい。

懇談会に関して、6月は新型コロナウイルスの感染状況も比較的落ち着いていたことやグループごとに開催することで参加人数を抑えることができることから対面で行った。しかし、2月の懇談会は感染が拡大しており、地域でも学級閉鎖なども多く見られていたことからオンラインでの開催とした。保護者とのやり取りをオンラインで行うことは初めての経験であり、保護者の中にも不安に感じるという意見も見られたが、事前の説明や適宜フォローしていくことで大きな混乱なく開催ができた。オンラインとなっても7割の参加が見られ、一人一人の話を丁寧に聞くことができるというメリットもあり有意義な時間となったと感じる。ディスカッションの時間はブレイクアウトルームを設定することで、参加者全員が発言できる場を作りながら保護者同士の対話の時間を持つことができた。保護者からは様々な子育ての悩みが聞かれたが、保育者がどうすればよいのか伝えるというよりは、保護者の中から「子どもの発達として受け入れながら、こんなときもあるのかな」といった気持ちで受け止めている」といった発言もあり、保育者が伝えてきたことが保護者の子育て観に繋がっているところもあると感じた。

・園外保育に関しては、宙グループのみ「けやの森学園」とお別れ遠足にて「こども自然動物公園」に行くことができた。特に1月に入ってからにはコロナの感染が拡大しお別れ遠足に行くかどうかも迷うところがあった。園外活動に関しても、行事同様保護者からアンケートを取り意向を聞きながら検討した。当初の計画では最後に姉妹園にも遊びに行かせてあげたいという想いもあったが、アンケートからはやはり感染を心配する意見が多い反面、お別れ遠足にはいかせてあげたいという保護者の想いを知ることができた。それについては、担任の想いも一致した為お別れ遠足には行くことになった。本来は近隣の公共施設を利用するなど、保育園以外の社会とつながる経験をたくさん作ってきたいという計画があったが、ほとんどが中止となってしまった。感染状況にもよるが、少しでも多くの経験を作れるよう考えていきたい。

けやの森での遠足にて



### (3) 給食・食育運営状況

- ・ 個々の発達や生活リズム等に合わせて、和やかに食事が出来るよう、個々の気持ちを尊重した関わりを心がけ、一人ひとりのペースに合わせて食事が摂れるようにしている。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、食事の際のテーブルの間隔を広げ、一度に座る人数も配慮できるよう食事の環境を整えた。特に、未満児の食事環境が全員集まってしまうことが見られたため、虹グループのみ別の部屋で食べるようにした。それによって、自分で配膳を行うといった以上児への移行を意識した保育を経験できるようになった。
- ・ 畑活動に関しては、今年度から保育者が中心となって行うことにした。ただし、夏野菜に関しては暑さなどもあり子どもの収穫が難しいことから、秋に収穫できる「さつまいも」の栽培から取り組んだ。苗を植えることや草むしりなどを子どもと一緒に体験し、収穫まで楽しむことができた。収穫後は子どもたちと相談し焼き芋にすることにした。昨年度までは「焼き芋会」という形で特定の日を設定し行っていたが、今年度は火おこしから子どもたちと日常的に行い、その中で少しずつ焼き芋を楽しむ形をとった。火おこしでは、どのようにマッチから火をつけるのか、火を大きくするにはどうすればよいのかといった試行錯誤が生まれ、遊びを通して子どもたちの中に役割分担なども見られるようになった。継続的に活動に取り組んだことで、火おこしということがより発達的な意義を持った活動となったように感じる。

火おこしに挑戦



### (4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	年2回実施（6月4日・11月12日）
歯科検診	年1回実施（6月17日）
保健だより	毎月児童数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	年度当初：全職員 毎月：0歳児担当・厨房担当者実施
流行した感染症	胃腸炎、RSウイルス、突発性発疹、プール熱、マイコプラズマ肺炎、とびひ、水痘（いずれも単発での感染で集団感染には至らず）
その他、保健に関する取組	5月29日、6月12日に普通救命救急講習受講 8月14日、15日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

・今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、園内の消毒活動はじめ、日頃の手洗い、うがい、マスクの着用を徹底した。その影響もあるのか園内での感染症がほとんど流行らなかった。

## (5) 安全対策

### 1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日(木)	避難・初期消火	無	無	
5月14日(金)	避難・初期消火	無	無	
6月15日(火)	避難・初期消火	無	無	
7月16日(金)	避難・初期消火	有	有	総合防災訓練 通報訓練 水消火器訓練
8月16日(月)	避難・初期消火	無	無	
9月15日(水)	避難・初期消火	無	無	
10月15日(金)	避難・初期消火・通報 広域避難場所避難	有	有	通報訓練 水消火器訓練 引き取り訓練
11月22日(月)	避難・初期消火	無	無	
12月23日(木)	避難・初期消火	無	無	
1月21日(金)	避難・初期消火	無	無	
2月28日(月)	避難・初期消火	無	無	
3月 日( )	避難・初期消火	無	無	

### 2. 非常災害備品の設置

- 賞味期限を確認して、非常食の入れ替えを行い、備蓄用品を点検した。
- 新たに避難待機用大型テント、蓄電池、職員用ヘルメット、一輪車を購入する。
- 水害訓練：7月20日(火)、11月25日(木)

### 3. 侵入者、不審者訓練・水害訓練

- 5月25日(火)園内にて不審者対応訓練を実施する。(警察指導あり)
- 9月22日(水)園内にて不審者対応訓練を実施する。

### 4. 実施した環境整備の状況

- 2階の窓の中で下まで落下する恐れのある窓に関しては、より強度の強い窓のロックを購入して設置した。
- 園庭の日よけ用に遮光ネットを設置し、風邪や雨など天候に合わせて適宜取り外しながら対応した。
- 熱中症に関しては、基本的には指数を参考に対応した。以前は指数の高いときであっても、計測する保育者の感覚によって差異が見られていたという課題があったため、統一することで対応の統一を図った。

## (6) 地域との関わり

### ア 子育て支援

- ・ 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、地域行事への参加や近隣の方を園内の行事にお誘いする機会がなくなりました。その中で、つどいの広場に遊びに来てくれた方に関しては、園庭での焼き芋や子ども同士のかかわりを楽しめるようにした。
- ・ つどいの広場に関しては、新たに誕生会や手形アートの日、お花の日を近隣散歩にするなど新しいイベントも作りながらより多くの方に遊びに来てもらえるよう工夫した。参加人数としては5組までという制約があったが、昨年度に比べるとより多くの方に利用してもらえた。
- ・ 園だよりを地域の回覧と一緒に配布させていただく。
- ・ 民生委員の方が園を訪ねて来てくれた際に、地域とのかかわりをどのように広げていくことができるのか相談させてもらった。現在は一つの地区のみ園だよりを配布しているが、もう少し範囲を広げて良いのではという助言をいただいた。来年度は、そのような点も含めてより多くの方に保育園での活動を知ってもらえるよう工夫しなければならないと感じている。

## 7. 危機管理

- ・ 安全部会の取り組みとして命のリストが「睡眠」「誤嚥」「水」という命に関わる場面を中心に変更となった。それに合わせて、食事場面の見守りを手厚くし、より一人一人の姿勢や咀嚼の様子、食後の口の中などに注意して目を向けるようにした。
- ・ ヒヤリハットは濃淡を明確にし、窓のかぎの不具合などはすぐに新しいものに交換するなど迅速に対応した。また、園外保育でのヒヤリハットは職員間の安全意識（感覚）を高められるように研修にて取り入れ、具体的な体制などはじっくりとクラスで話し合い、園外保育に対する危機意識を高め、安全に楽しめるよう働きかけた。
- ・ 気づきノートには、日常の中にある保育者のちょっとした気づき（〇〇が壊れていたから直しておいた、〇〇が汚れていたから拭いておいた）を個々に書くようにし共有した。クラスごとにノートを作ったことで、それぞれのノートに日々2~3個の気づきがあがるようになり、更に一人一人が具体的な対応までしてくれるようになった。
- ・ 他園で発生した事故事例等について、姉妹園の代表者が集まる安全分科会等を通して共有し、自園の対応を話し合った。
- ・ 毎月の避難訓練では、計画通りに実施するだけでなく訓練の際に出た反省を踏まえて翌月の訓練に繋げられるよう安全WTでの話し合いを行った。避難訓練の中のPDCAサイクルが回るようになったことで、保育者間の連携などが高まったように感じる。

# 1. 職員研修(園内研修)

【令和3年度 内部研修実績】

実施日	研修内容	参加人数
5月 8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー</li> <li>・SIDS</li> <li>・散歩マニュアル</li> <li>・熱中症</li> <li>・個人情報</li> <li>・誤飲誤嚥</li> <li>・支援センター 電話対応</li> </ul> ★姉妹園(伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目・高階・となり)合同研修 ※ZOOM 合同研修 テーマ「職員の多様性の尊重と連携」 講師 一般社団法人チャイルドフード・ラボ 代表理事 藤原里美氏	18名
5月 29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命講習</li> </ul>	13名
6月 12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命講習</li> </ul>	15名
6月 19日	★姉妹園(伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目・高階・となり)合同研修 ※ZOOM 合同研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人本部より</li> <li>・保育部会各位委員会報告</li> </ul>	17名
6月 19日	★姉妹園(伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目・高階・となり)合同研修 ※ZOOM 合同研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育部会各位委員会報告</li> <li>・グループディスカッション</li> <li>・環境設定見直し</li> </ul>	14名
8月 28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除</li> <li>・安全(水の事故)</li> <li>・コミュニケーションについて</li> <li>・人権</li> <li>・職員ルールの見直し、共有</li> <li>・ワークショップについて話し合い 環境設定見直し</li> </ul>	17名
10月 2日	「ポートフォリオを読んでみよう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども理解</li> <li>・ポートフォリオの書き方を学ぶ</li> <li>・職員間の共有</li> <li>・下半期のクラス運営</li> <li>・ふれあい会準備</li> </ul>	16名
11月 27日	★姉妹園(伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目・高階・となり)合同研修 ※ZOOM 合同研修 テーマ「わらべうたの教材とした音楽表現の活動について」 講師 長谷川恭子氏 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロフトへの玩具の持ち込み等、ルールの共有</li> <li>・ウィンターフェスタ話し合い</li> </ul>	14名
12月 3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井上先生ワークショップ</li> </ul>	10名
12月 25日	★姉妹園(伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目・高階・となり)合同研修 ※ZOOM 合同研修 テーマ「玩具の使い方」 講師 こどものとも社 井藤氏 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症について</li> <li>・年末大掃除</li> </ul>	19名
2月 26日	★姉妹園(伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目・高階・となり)合同研修 ※ZOOM 合同研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人本部より</li> <li>・保育部会各位委員会報告</li> <li>・来年度 全体的な保育計画見直し、作成</li> </ul>	19名
3月 26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度準備</li> <li>・大掃除</li> </ul>	18名

## 2. 外部研修

### 【令和3年度 外部研修実績】

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
5月 19日	汐見ゼミ	各園からの問題提起	Zoom 開催	1名
5月 26日	臥龍塾	駒沢こだま保育園 食育について	Zoom 開催	1名
6月 16日	汐見ゼミ	各園からの問題提起	Zoom 開催	1名
6月 20日	臥龍塾	たちばな幼稚園 チーム保育について	Zoom 開催	1名
7月 7日	おもちゃインストラクター養成講座－オンライン－①おもちゃインストラクターの役割 山口裕美子氏	おもちゃインストラクターの役割	ZOOM 開催	1名
7月 9日	おもちゃインストラクター養成講座－オンライン－②子どもにとってのおもちゃと遊び 頭金多絵氏	子どもにとってのおもちゃと遊び	ZOOM 開催	1名
7月 12日	おもちゃインストラクター養成講座－オンライン－③手作りおもちゃのワークショップ 武田真理恵氏	手作りおもちゃのワークショップ	ZOOM 開催	1名
7月 24日	自分をコントロールする力を育む 中道直子氏	幼児期の実行機能の重要性とその支援	ZOOM 開催	1名
7月 28日	臥龍塾	ディスカッション	Zoom 開催	1名
7月 30日	おもちゃインストラクター養成講座－オンライン－④新聞紙でとことん遊ぼう 多田純也氏	新聞紙でとことん遊ぼう	ZOOM 開催	1名
8月 4日	臥龍塾	ディスカッション	Zoom 開催	1名
8月 29日	おもちゃインストラクター養成講座 オンラインプログラム 多田純也氏	オンラインプログラム	ZOOM 開催	1名
9月 9日	保育でつむぐ子どもと親のいい関係 井桁容子氏	保育でつむぐ子どもと親のいい関係	伊佐沼すまいる保育園 (ZOOM 開催)	5名
9月 15日	汐見ゼミ	各園からの問題提起	Zoom 開催	1名
9月 22日	臥龍塾	新宿せいが保育園 書類について	Zoom 開催	1名
10月 17日	第6回 多職種のための乳幼児健診講習会 講師複数	多職種のための乳幼児講習会	ZOOM 開催	1名
10月 19日	さくらしんまち保育園 見学	園見学	さくらしんまち保育園	1名
10月 20日	臥龍塾	新宿せいが保育園 これからの時代と保育について	Zoom 開催	1名
10月 20日	汐見ゼミ	各園からの問題提起	Zoom 開催	1名
11月 10日	臥龍塾	保連携型認定子ども園たちばな幼稚園 幼児から入園した子どもと乳児から入園した子どもの違い～見守る保育の解釈から～	Zoom 開催	1名
11月 13日	物語、絵本、ファンタジーの遊びが豊かになるために 瀧薫氏	絵本を通じた保育への発展	伊佐沼すまいる保育園 (ZOOM 開催)	13名
11月 14日	汐見ゼミ いい園とはどういう園のことを言うのか、多角度から検証してみよう ① 汐見稔幸氏	これからの時代のリーダー像	ZOOM 開催	1名
11月 17日	汐見ゼミ	各園からの問題提起	Zoom 開催	1名

11月 19日	保護者とのコミュニケーション・相談への対応 村山久美氏	保護者支援・対応	伊佐沼すまいる保育園 (ZOOM 開催)	1名
11月 19日	キャリアデザインを考える 高野橋里紗氏	キャリアデザインを考える	伊佐沼すまいる保育園 (ZOOM 開催)	2名
12月 2日	配慮が必要な子どもの理解と支援 星山麻木氏	配慮が必要な子どもの理解と支援	ZOOM 開催	1名
12月 8日	臥龍塾	第二いちご保育園 2歳児クラスにおける異年齢交流	ZOOM 開催	1名
12月 15日	汐見ゼミ	各園からの問題提起	Zoom 開催	1名
12月 19日	汐見ゼミ いい園とはどういう園のことを言うのか、多角度から検証してみよう ② 汐見稔幸氏	国の新しい動き リーダーとして知ってほしいこと	ZOOM 開催	1名
1月 19日	虹色な子どもたち～特性理解は自分理解から～ 星山麻木氏	発達特性のある子への理解、寄り添い方	伊佐沼すまいる保育園 (ZOOM 開催)	1名
1月 19日	汐見ゼミ	各園からの問題提起	Zoom 開催	1名
1月 20日	科学する心を育む 優秀園実践提案研究会	実践発表	Zoom 開催	1名
1月 21日	保育環境コーディネーター：保育と積み木 藤田氏	保育と積み木	ZOOM 開催 ZOOM 開催	1名
1月 22日	東洋大学オンラインセミナー		Zoom 開催	1名
1月 26日	臥龍塾	青山保育園 藤森メゾット保育への取り組みについて	ZOOM 開催	1名
1月 19日	こどもなーとシンポジウム	アトリエリスタの視点から	Zoom 開催	1名
1月 30日	汐見ゼミ いい園とはどういう園のことを言うのか、多角度から検証してみよう ③ 汐見稔幸氏	21世紀の保育園づくりの課題	ZOOM 開催	1名
2月 2日	臥龍塾	松青こども園 もしー斉保育をやっていた鹿児島の子ども園が藤森先生の見守る保育を取り入れたら		1名
2月 4日	保育環境コーディネーター：保育とお世話遊び 藤田氏	保育とお世話遊び	ZOOM 開催	1名
2月 12日	一人ひとりを大切に育てるために～育児担当制の実践～	育児担当制の実践を聞く	伊佐沼すまいる保育園 (ZOOM 開催)	5名
3月 18日	保育環境コーディネーター：保育とごっこ遊び 藤田氏	保育とごっこ遊び	ZOOM 開催	1名

【令和3年度 キャリアアップ研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
7月 1.2日	保護者支援	ZOOM 開催	1名
7月 16.20日	マネジメント	ZOOM 開催	1名
12月 2.9.14日	保健衛生・安全対策	ZOOM 開催	1名
10月 11.27.29日 11月 8日.11日 12月 13.16日	地域保育コース 地域型保育	ZOOM 開催 保育園実習	1名
10月 11.28.日 11月 4.16.18日 12月 14.17日	地域保育コース 一時預かり事業	ZOOM 開催 保育園実習	2名
11月 27日 12月 11日 1月 22日	食育・アレルギー	ZOOM 開催	1名

# 令和3年度 三丁目すまいる保育園 事業報告書

## 1. 平成30年度 総括

昨年度末から行われたリフォームで二階の保育室や三階の保育室からテラスに出て遊ぶことができるようになった。三階のテラスには姉妹園の職員の協力の下、ブランコの設置や高台の設置を行った。

熱中症を警戒して戸外に遊びに行けない夏場でも、日陰を作り、すぐに園内に入る事ができるようになったため、保育の幅を更に広げることができた。



ここ数年で井上先生のワークショップに参加することで培った DIY の知識を生かし、冬に姉妹園の職員の協力を得て 2 階保育室内にロフトを 2 か所設置した。日々挑戦する子どもたちの姿が見られ、粘り強さや達成感を獲得している。



コロナ禍が続く今年度も、外部の方や保護者の方が参加できる行事は中止し、園内で保育者と子どもたちだけで楽しむようにした。夏の夕涼み会では音楽やリズムに親しみ、秋はふれあい遊び会の代わりに「にこわくウィーク」と題して身体を動かす遊びを中心に、冬のウィンターフェスタは一週間に渡り出席しやすくクリスマスにちなんだ音楽や製作を楽しんだ。節分ではお正月の伝統遊びも取り入れ、3丁目公園で凧揚げごっこや豆まきごっこなどの伝統遊び、伝統行事を遊びに取り入れながら体験した。

今年度もポートフォリオで子どもたち一人一人の様子を保護者とやり取りして伝え合い、キッズリーを使ってクラス全体の様子を保護者に伝えました。保育が見えることで保護者の不安を軽減し、信頼関係の構築を目指した。



となりのすまいる保育園に幼児クラスが独立し、三丁目すまいる保育園の 2 歳児クラスの高月齢児が交流することで、2 歳児の子どもたちも次のステップが見え、また、遊びが広がり、発達を更に促すことができるようになった。



## (2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む
保育 WT	活動が豊かに展開されるように、書類の作成、CCW の活用、研修を受けて環境の見直しなどを行う。

## 6. 保育・処遇

### (1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中の保育だけでなく遅番のヘルプなど、積極的に子どもの中に入ることで、子どもたちの様子から見えるエピソードなどを共有し、環境整備などの相談に乗れるよう努めた。</li> <li>・職員とは自己評価を基に定期的に個別面談を行った。また、研修で困ったわからないを解消した。</li> </ul>
保護者面談および発達相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参加の際、保護者との面談を行い、保育園での生活の様子や、発達について共有した。</li> <li>・子ども発達支援巡回事業を利用し、発育発達に不安のあるお子様の様子を見てもらい、助言を頂く。</li> </ul>
園児の保護者への支援および意見要望への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からのご意見を頂いた際は、時間を取ってもらうよう連絡ノートを通しやり取りをした。外国籍の方へは職場の方やお友達に連絡を取って、誤解のないように伝えていった。</li> </ul>

### (2) 年間行事の振り返り

今年度もコロナの影響で保護者参加はできなかった。保護者会の役員さんには、夕涼み会・ハロウィン・ウィンター用の壁面を準備していただき、飾りを作り上げていただいたことで、気持ちも盛り上がりウィークデーをゆっくりと過ごすことができました。

地域への配信も今年度は積極的にはできなかったのですが、公園を利用させていただき、ふれあい遊びや伝承遊びでは子どもの数が多くならないように、一週間で計画し行いました。三丁目公園だけでは遊びもつながらないため、室内でも同じような環境を用意し季節の行事を楽しんでいった。



写真スポットなど、作っていただきました。

### 給食・食育運営状況

食育活動では、毎月様々な形で、食材に触れた。月々の旬の食材を意識し、皮むきや、洗浄などで本物の食材に触れることで、匂いや感触を感じる事が出来た。0歳児であっても、その時の表情や給食に出てきた時の反応があり触れることの大切さが感じられた。コロナ禍のため、実際にクッキング体験を行うことができなかったが、給食の時に食材やメニューを丁寧に伝えたり、写真を貼り、興味を持てるよう工夫していった。



また、食事中の子どもたちの様子をしっかりと見守るために、「食事中の心がけ」を見ながら食事の介助、見守りを行っている。見守り方を共有することで、姿勢や足の位置、を意識することができ、誤飲防止、事故防止、に繋がっている。

### (3) 保健に関する実施結果

園児健康診断	6月8日と10月5日の2回実施
歯科検診	6月9日の1回実施
保健だより	毎月家庭数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	毎月、乳児担当、厨房担当実施
流行した感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胃腸炎やRSウイルスなど季節ごとに感染する子どもが多く見られた。</li> <li>・新型コロナウイルスは一人濃厚接触から家庭内感染となった。家族が陽性になることはあったが、在席児が陽性になったのは1名だった。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国の指針に基づき対応をする。</li> </ul>
その他、保険に関する取組	5月29日、6月12日、26日、7月10日普通救命救急講習受講 8月12日、13日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

### (4) 安全対策

#### ア 防災対策

##### 1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日(月)	地震・火災・消火	無	無	
5月14日(金)	地震・火災・消火	無	無	
6月15日(火)	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
7月16日(金)	地震・火災・消火	無	無	
7月21日(水)	不審者対応	無	無	
8月16日(月)	地震・火災・消火	無	無	
9月15日(水)	地震・火災・消火	無	無	
10月15日(金)	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
11月15日(月)	地震・火災・消火	無	無	
12月15日(水)	地震・火災・消火	無	無	
1月14日(金)	地震・火災・消火	無	無	
2月15日(金)	地震・火災・消火	無	無	
3月15日(火)	地震・火災・消火	無	無	

## 2. 非常災害備品の設置

アルミ製リヤカー、災害用ヘルメット、カセット式ストーブ、カセットガスを新たに購入  
非常食、液体ミルクの購入、存期限間近の保存水、簡単湯沸かし器の交換。

## 3. 侵入者、不審者訓練

講習を受け必要なものを用意した。  
玄関の施錠個所を増やした。

## 4. 実施した環境整備の状況

・今年度も「遊・食・寝」を独立して行える環境にすることを意識し、環境設定を行った。にこにこの保育室では、「遊・食・寝」を意識しながらも、食べる、遊ぶ、寝るの流れが、子どもたち一人一人の主体的な動きから自然に見られるようになり、自立心に繋がっていると感じている。仕切りを子どもの高さまで上げたことで、落ち着ける空間になった。食事を少人数でとっているが、必ず食べられる安心感なのか声がかかるまで、保育者と落ち着いで過ごしている。

わくわく組ではロフトができたことと、テラスの開放時間を決め行ったことで、主体的に遊びを繰り広げている。テラスでは外におもちゃ等を落とさないようネットを張り安全に遊べる空間になった。そのほかにも、子どもたちの興味関心に寄り添いながら、少しずつ環境を整えてきた。

## (5) 地域との関わり

市、自治会への参加

・毎月第一日曜日に複数名の保育士で地域清掃

公益的な取り組み

「つながる相談窓口」開設      ステッカー、のぼりの設置      「衣類バンク」

保育年間計画の可視化

可視化して保護者に掲示

## 7. 危機管理

- ・毎月安全 WT によるヒヤリハットの分析を行う。リスクの高い事例に関しては、具体的な対策などを話し合って次の事故防止に努めた。
- ・命のリストで園の見回りを毎日行うことで、保育者一人一人が小さなことに気づき、声を上げることによって、安全な環境づくりにつながる。
- ・他園で起きた事故事例を確認し、注意喚起を行うとともに、自分の対応などを話し合った。
- ・誤飲事故を防ぐために、「食事中心掛け」を共有し、食事の見守り方や食後の口腔チェックを徹底した。
- ・命の見回りを行い、口腔確認、故障個所など保育から抜けて点検を行っていく。

## 8. 職員研修(園内研修)

実施日	研修内容	参加人数
4月 3日	・環境設定	24名
5月 8日	・熱中症、病気対応、既往歴、与薬の流れ、虐待、人権（子ども・大人）、誤飲・誤嚥、アレルギー対応について、玩具の誤飲・誤嚥、SIDSのやり方、個人情報のディスカッション、送迎時の保護者・電話対応、散歩マニュアルを更新・藤原里美先生研修	30名
5月29日 6月12日	普通救命講習	21名
6月19日	・内部研修（委員会発表）	26名
6月26日 7月10日	普通救命講習	20名
8月28日	・大掃除	35名
10月2日	・園内研修（掃除）	20名
10月9日	・園内研修（ポートフォリオ・ドキュメンテーションづくり）	10名
11月27日	・9:00～11:00 わらべ歌実践研修 ・11:10～11:45 感染症（嘔吐処理・インフルエンザの対応） ・13:15～18:00 自己評価・人権・虐待について ・新しい環境について・ウインターフェスタの準備	29名
12月25日	・9:00～10:00 井藤さん講義「おもちゃの遊び方」 ・10:10～10:50 外部研修報告 ・9:00～18:00 大掃除	24名
2月26日	・ ・ ・ ・	名
3月26日	・ ・ ・ ・	名

## 9. 外部研修

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
7月 25日	久保隼人	保護者の理解と感情をコントロールする技術		1名
7月 24日	中道 道子	自分をコントロールする力を育む		1名
7月 1日	第6回関東ブロック保育研究大会	すべての子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現を目指して		1名
8月6日	保育のための安全対策講座	安全への感覚（危険予知能力）を高める		1名
8月 26日	乳児保育研修会	コロナ禍の保育・未来を見据えた保育者の専門性		1名
11月13日	瀧 薫	物語・絵本・ファンタジーの遊びが豊かになるために		15名
11月18日	埼玉県保育士会 秋の研修会	子どもの主体の保育の理解促進		1名
11月25日		パネルシアターを通して、人と応答する楽しさやつながり合う喜びを味わう環境づくりや遊びについて	フクトピア	2名
12月 4日	アート展2021		アルテ子どもと木幼稚園	3名
1月 18日	第2回社会貢献活動推進連絡会議	「SDGsの自分ごと化」		1名
1月 27日	ふじみ野市相談支援包括化推進会議	「外国ルーツの支援について」		2名
2月 10日	児童虐待防止サポーター研修	児童虐待の防止法を保護者に伝える		1名
2月 12日	吉本和子	一人ひとりを大切に育てるために		9名
2月1日～2月28日	日本保育協会	実践に活かす保育指針セミナー 子どもの育ちにとっての保育の質		名
2月21日～3月18日	社会福祉協議会	「選べる」福祉職員組織力向上研修		名

## 10. 苦情解決のうち報告すべき事項

- ・特に苦情はありませんでした。

# 2021年度 鶴ヶ岡すまいる保育園 事業報告書

## 1. 2021年度 総括

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止により、新しい生活様式の中での保育となった。埼玉県でも「まん延防止等重点措置」が発出され、保育園でも、数名の園児の感染があり、ふじみ野市保育課の指示で保育園との協議の上、濃厚接触者を確定し自宅待機をお願いをした。保育園全体の休園や登園自粛等までの要請はなく、手洗い、消毒などの感染対策を行いながらも通常通りの保育を行った。引き続き、登園時の全員の検温、降園時の保護者の保育室への入室をなくしテラスでの登降園対応を行った。テラスでの登降園については保護者との連携がとりにくいという意見や感染状況を踏まえ、園舎での登降園に戻した時期もあったが、1月の園児の感染と、オミクロン株の感染拡大を受け再度テラスでの登降園に変更した。

コロナのため様々な場面で制限を強いられ、特に地域の行事はことごとく中止となった。子どもたち（年長児）が楽しみにしている「よさこい」も2年続けての中止となり、七夕祭りなどの行事も中止になった。一時感染が落ち着き、子どもたちの作品展など参加を予定していた鶴ヶ岡コミュニティーセンター主催の「梅まつり」（2月）も結局中止となった。その分、園行事の中に組み入れたりすることで、子どもたちの「やりたい！」を保障し活動につなげた。園行事、保護者会行事については、行事についてのアンケートを行ったうえで、保護者の参加を制限したり、年長児のみ行ったりするなど、規模を縮小して開催した。

保育環境としては、今年度は、すまいる委員会保育環境アドバイザー井上先生の指導の下、未満児（特に0、1歳児）対象のロフト、園庭築山の滑り台の設置をした。未満児のロフトは、0歳児が全身を使って、段差を登ろうとする姿や、段差を登り切れた子が、スロープを滑る姿、またロフトの上で友達同士、関わりながら遊びを展開するなど、室内の遊びの幅が広がったと感じる。



未満児用のロフト

高さの違う階段や、スロープは一人ひとりの発達に応じて楽しめます。

ロフトの上では、子ども同士のたくさんの関わりが生まれています。



園庭築山の滑り台は、かねてより子どもたちが「滑り台が欲しい」と希望していたもので、実現することができた。昨年度作ったタイヤの階段や築山そのものの斜面などに滑り台が加わったことで、子どもたちの発達に応じて、多彩な遊びが展開されるようになったと感じる。滑り台では幼児クラスの子どもたちはもとより、1、2歳児クラスの子どもたちも挑戦する姿が見られた。年長組では、滑り台の約束を



築山の滑り台

わくわく組にも、にこにこ組にも大人気です。

話し合い安全に遊ぶためにはどうしたらよいか、子ども自身の安全力の向上にもつながっていると感じる。1, 2 歳児クラスでは、最初は上まで行くものの、滑れない子も多かったが、何度も挑戦するうちに滑れるようになり、誇らしげな様子が見られている。

また畑も拡張し、子どもたちと育てる野菜を話し合い、たねや苗を植えて収穫を楽しんだ。畑の活動は食育活動の充実だけでなく、保育の中でも、収穫した野菜を販売(お店屋さん) するなどの活動につながっている。



滑り台の約束



自動販売機の製作  
試行錯誤を繰り返し、構造を考え完成させました。

年長児はプロジェクト保育を実践。今年度は自動販売機をテーマにして、本物の販売機の内部の構造を見せてもらうことで、その仕組みを知ったり、実際子どもたちが意見を出し合っ、試行錯誤をしながら製作を進めた。製作の過程で様々な気づきや失敗、工夫を重ね、最後はオリジナルの自動販売機に実際のジュースを入れ楽しんだ。

室内や園庭の環境、様々な活動を通じ現れ

ている子どもたちの姿には「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」、保育の目標である「育みたい資質・能力」(非認知的能力) が育まれていると感じる。また、今年度の鶴ヶ岡すまいる保育園のテーマである「自分で考え行動し表現する(挑戦と継続)」「思いやり通じ合う心を持つ」「自然と関わる」につながっていると思う。来年度も保育環境を整え、様々な活動を通して子どもたちのすこやかな成長につながるようにしていきたいと思う。

《園バスの活用》

今年度は、感染状況を見ながら、消毒や喚起などの感染対策を行い、園バスを利用して姉妹園交流や園外保育を行った。

「今昔村」「けやの森学園」「丸山公園」「伊佐沼冒険の森」その他姉妹園など、子どもたち(特に年長児)と話し合いをしながら、行先を決め実施した。「けやのもり学園」の遠足には、となりのすまいる保育園の年中児も参加し、交流を深めた。また、今年度は、グループごとにバスを利用し、園外保育を行った。特に月グループは、上の学年の子がいない中で初めて普段いかない場所に出かけ、緊張した様子も



バスの中の様子  
みんなわくわく!



伊佐沼すまいる  
泥んこ祭り。貴重な体験です



丸山公園  
ローラー滑り台楽しい~!



今昔村  
思い思いに楽しみました

見られたが、慣れない場所でどう行動すればいいのかを考える姿があったと思う。

感染の状況により園外活動には十分な配慮が必要だが、公共の場でルールを守ったり、集団の中で考えて行動するなどの規範意識、社会性、自立心などが芽生え、園内ではできない体験ができ、子どもたちの成長につながっている。また姉妹園との交流を通じ、遊びや、友達関係の幅が広がられている。今後も子どもたちの希望を聞きながら、園外活動を行っていききたい。

## 2. 児童利用状況

### 月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	6	5	5	7	8	9	9	9	9	9	9	9
1歳児	20	19	19	19	20	20	22	22	23	23	23	23
2歳児	20	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
3歳児	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
4歳児	14	14	14	14	14	14	15	15	15	15	15	15
5歳児	20	21	21	21	21	20	20	19	19	19	19	19

### 延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	139	121	125	111	110	123	147	143	146	107		

## 3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大11時間	有料	
通常保育	8:00～16:00		最大8時間	
夕方延長	16:00～18:00		有料	
有料延長	18:00～19:00	有料		土曜日は無し

## 4. 職員

### 3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	14	保育士	12	看護師	0	栄養士	1	事務	0
パート職員	21	保育士	11	看護師	1	栄養士	0	事務	1
調理員	3	嘱託医	2						

### 職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍総数	37	37	36	36	36	38	36	34	36	35	35	35	431
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち保育士正規	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	151
うち保育士パート	9	9	9	9	9	11	11	11	11	11	11	11	122
うち看護師	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
うち調理員	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	53
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち事務	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	17
うち産休育休	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
うち保育補助	6	6	5	5	5	6	4	3	5	5	5	5	60

## 5. 運営報告

### (1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
								個別月案会議 (3歳未満児)				

### (2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める。
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める。また園内の衛生管理や感染対策を行う。
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む 保育と給食の一体化を目指して栄養士、調理師、保育者が連携する。
保育 WT	保育理念、保育目標、保育所保育指針に基づいて、子どもの主体的及び非認知能力を伸ばす保育の在り方について実践を通して、議論を重ねつつ学びを深める。

	保育の在り方について実践を通して、議論を重ねつつ学びを深める。
地域 WT	地域と共に育ちあえる保育を目指して、地域との交流を深める。衣類バンク等地域の活動への参加。

## 6. 保育・処遇

### (1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と保育内容や環境について共有し、適宜、悩みや戸惑いに寄り添えるよう努めた。</li> <li>・職員とは定期的に個別面談を行った。</li> </ul>
保護者面談および発達相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達相談として数回面談を行う。現在の子どもの状況などを共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える。また、ケースによっては、専門機関への相談をお願いし、発達検査をして、療育につなげている。</li> <li>・子育てへの不安などに対し、適宜個別面談の時間を作る。今後も育児に対する不安や戸惑いなどを表現できる環境、場づくりができるよう努めていきたい。</li> </ul>
園児の保護者への支援および意見要望への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の行事が中止になるケースが多かったが、保護者会主催の「秋祭り」は規模を縮小して行うことができた。</li> <li>・保護者支援では個別対応が必要なケースが何軒かあった。ふじみ野市と連携をとり対応した。</li> <li>・意見要望については、ほぼなかった。</li> <li>・保護者アンケートの実施（次年度の計画作成に向けて）</li> </ul>

### (2) 年間行事の振り返り

・今年度も新型コロナウイルス感染症により、毎年参加していた地域の行事は中止になった。園行事は、保護者にアンケートを行い、出来る範囲で開催をした。「親子ふれあい遊び会」は、例年の様に小学校での開催はできず、年長児のみで開催をした。他の園児については、子どもたちの発達を中心に動画配信をした。



園庭の遊具などを利用してサーキットを行ったり、ダンスも披露しました。

ウインターフェスタは、子どもたちの様子を生配信し、同時に未満児については、表現を中心にした動画を作成し配信した。また、ハロウィンは地域を巻き込んだ活動はできなかったが、思い思いの仮想をして、園内でパーティーを行い楽しんだ。その他、焼き芋会やお餅つき節分等季節感のある行事を行うことができた。たくさんの制限がある中で、子どもたちと話し合いながら、オンラインの環境を活用し、子どもたち、保護者にとって思い出に残るものとなったと思う。

また、昨年同様、コロナ渦であっても、保育参加については、一日一組にして行った。保護者参加の行事が中止になり、保育園での様子を見る機会がなくなる中で、お子さんの成長を保護者と共有できるいい機会となり、保育園への理解も深まったと思う。また、クラス懇談会を ZOOM にて開催した。参加者が少なく課題も残るが、一つの選択肢として今後も活用できると思う。

### (3) 給食・食育運営状況

今年度は「食を楽しむ」「子どもとの信頼関係を育む」をテーマに厨房、保育が一体となり食育活動に取り組んだ

- ・今年度も、昨年から引き続き食事の時間に幅を持たせることで一人一人に合わせてゆったりと食事を楽しめるようにしてきた。保育者の理解も深まっていて、子どもたちも自分のペースで食事をしている。また、給食時間に音楽を流し、落ち着いた雰囲気ですぐに食事が出来るようにしている。
- ・厨房と保育の一体化としては、食育 WT の話し合いを通して食育についての情報共有に努めている。
- ・定期的になこにこ組、わくわく組ともクッキングを行い、給食やおやつに食材に触れることで自分の為の食事に興味を持てるようにしている。
- ・畑で好きな野菜を栽培したりする中で、収穫する喜びを感じたり、実際に食材に触れることを通して食に興味を持つことが出来た。また焼き芋会、お餅つきなど戸外での調理を通して、調理の楽しさを実感したり、火起こしや火の取り扱い方等を知ったり、苦手な食材が食べられたりする等、たくさんの経験ができる活動になっている。



ハロウィン



ウインターフェスタ



畑でとれた野菜  
こんなにたくさん獲れました。  
おいしそう～

ぺったんこ～  
よいしょ！よいしょ！  
鏡餅を作りました。



お餅つき  
火おこしをして、お米の違い、におい、もち米の変化などたくさん経験しました。



おいしくなーれ!  
おいしくなーれ!

焼き芋の出来上がり～  
ホカホおいしかった～



#### (4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	6月16日と10月20日の2回実施
歯科検診	6月2日の1回実施
保健だより	毎月児童数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	毎月、乳児担当、厨房担当、食育担当実施
流行した感染症	<p>・今年度は、夏、全国的にRSウイルス感染症が流行し保育園でもたくさんの欠席があり、入院する園児もいた。冬はウイルス性胃腸炎が流行った。その他の感染症については数名の罹患はあったものの、インフルエンザの感染はなかった。</p> <p>また、コロナウイルス感染症についても、5名の園児が罹患。そのうち、園児に自宅待機の要請が出たのは2回だった。</p>
その他、保健に関する取組	<p>5月から7月にかけて4回に分けて普通救命救急講習受講</p> <p>8月12日、13日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施</p> <p>希望する職員にインフルエンザの予防接種</p>

#### (5) 安全対策

##### ア 防災対策

##### 1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日(金)	避難・消火	無	無	
5月14日(金)	避難・消火	無	無	
6月15日(火)	避難・消火・通報	無(消防署の都合)	有	水消火器訓練
7月16日(金)	避難・消火	無	無	
8月16日(月)	避難・消火	無	無	
9月15日(水)	避難・消火	無	無	
10月15日(金)	避難・消火・通報	有	有	

11月15日(月)	避難・消火	無	無	
12月15日(水)	避難・消火	無	無	
1月14日(金)	避難・消火	無	無	
2月15日(火)	避難・消火	無	無	
3月15日(月)	避難・消火	無	無	

## 2. 非常災害備品の設置

今年度は追加の設置はなし。

## 3. 侵入者、不審者訓練

・7月に警察官立ち合いによる不審者訓練を実施。反省点はあったが、園内の対策は撮れているとの事で、次回は、散歩から帰って来た時など子どもたちも参加しての訓練を行ってもいいのではないかと提案される。

## 4. 実施した環境整備の状況

- ・未満児用のロフト、築山の滑り台の設置
- ・ウッドチップを園庭に入れ、土台下を中心に柔らかくする。
- ・夏のテラスが熱くなるため、日よけを付ける。(夏期のみ)
- ・畑の増設

## (6) 地域との関わり

### ア 子育て支援

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域の行事への参加、地域の方を園行事にお誘いすることが出来なかった。
- ・掲示板を活用し園の様子を発信する。また、ホームページのブログで園の様子を発信する。

### イ つどいのひろば

- ・今年度は、消毒・喚起に配慮しながら対面での活動が出来た。同時にオンライン広場を行い関西からの参加もあった。昨年度より少しずつ参加も増えている。

### ウ 一時預かり事業

- ・今年度は通常通りの受け入れを行った。就労での定期利用が多く、一部は本入園にもつながっている。今年度は、幼稚園の長期休み時の利用、新型コロナウイルス感染症による幼稚園等の学級閉鎖に伴う利用の問い合わせが増えた。

## 7.危機管理

- ・安全委員会の取組として、事故防止のための命のリストの見直しを適宜行う。重大事故につながる、「SIDS」「誤飲」「水の事故」についての項目は毎日確認を行っている。
- ・日常の保育の中での「気づき」を記入する、「気づきのノート」を作成し、日々のちょっとした気づき

を共有することで、保育環境の改善につなげている。

- ・ヒヤリハットは、今年度も「インシデント」「ヒヤリ」「事故」に分類しているが、内容の分析をしやすいように事故の種類を分類し事故防止に繋がれるようにする。同時に、ケガリストを作成、誰がどんなケガをしたのかを記録することで、ケガの傾向を知るのに役立つ。
- ・気づきノート・ヒヤリハットをきっかけに、細かいチェックリストを作成し危機管理に繋がれた。
- ・他園で発生した事件事例について、安全委員会を通して共有し、自園での対応を話し合う。

## 8. 職員研修

### 【令和3年度 内部研修実績】

実施日	研修内容	参加人数
5月8日	人権、虐待、子どもの個別の様子及び配慮事項、感覚統合、ポートフォリオ、c c w、アレルギー対応、誤飲誤嚥、散歩マニュアル、水の事故、熱中症、命のリスト、気づきボード、ヒヤリハット、にこちゃんマニュアル、子どもの救急オンライン、保護者対応、藤原先生(職員の多様性の尊重と連携)	25名
5月29日	救命講習①	8名
6月12日	救命講習②	9名
6月19日	合同園内研修(委員会・法人報告) 保育環境について、木製遊具について	23名
6月26日	救命講習③	9名
7月10日	救命講習④	5名
8月28日	個人情報、虐待、保育環境、コロナウイルスの扱いについて書類の書き方、秘密保持、大掃除	19名
10月2日	ヒヤリハットの共有、保護者対応、お弁当について	21名
10月9日	おかわりのルールについて、ポートフォリオについて、パンフレット読み合わせ	27名
11月27日	感染症、配慮が必要な保護者対応、各コーナーの説明書作成、長谷川先生(わらべうたを教材とした音楽表現の活動について)	24名
12月18日	人権セルフチェック	14名
12月25日	井藤先生(玩具の遊び方、目的外使用について)、外部研修報告、大掃除、既往歴の確認、子どもが居なくなった訓練	21名
2月26日	合同園内研修	名
3月26日	新年度準備	名

### 【令和3年度 外部研修実績】

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
6月30日 7月28日 9月22日	臥竜塾(21世紀型保育のススメ)	チーム保育 異年齢交流 新・子ども観	オンライン研修	1名

10月20日 11月10日 12月8日 1月26日 2月2日 3月		乳児理解		
5月8日	職員の多様性の尊重と連携、保護者支援 支援者に求められるマインド 藤原里美先生	心理的安全性 保護者支援	オンライン研修	19名
9月14日	子育て支援従事者研修  中央児童相談所 埼玉県福祉部地域包括ケア課	児童虐待の現状と虐待予防 保護者との関係性の構築法 ケアラー支援のために	オンライン研修	1名
11月 13日	物語、絵本、ファンタジーの遊びが豊かになるために  城東よつばこども園 滝薫先生	遊びとは ファンタジーとは 活動猶予期間	オンライン研修	9名
11月17日	『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』 を踏まえた幼・保・小接続  草加市立長栄小学校 校長 嶋田弘之先生	幼保小中高の資質・ 能力の一貫性 幼保小の円滑な接続	オンライン研修	1名
11月19日	新任保育士向け資質向上研修 ポピンズプロフェッショナル	保護者とのコミュニケーション・相談への対応 キャリアデザインを考える	オンライン研修	1名
11月25日	研修転移を促進する往還型研修	パネルシアター	ふじみ野市総合センターフクトピア1階	2名
11月26日	新任保育士向け資質向上研修 ポピンズプロフェッショナル	食物アレルギーへの対応 キャリアデザインを考える	オンライン研修	1名
11月27日	わらべうたを教材とした音楽表現の活動に	乳児・幼児のわらべ	鶴ヶ岡すまいる保育	19名

	<p>ついて 秋草学園短期大学 地域保育学科 長谷川恭子先生</p>	うた	園	
12月2日	<p>新任保育士向け資質向上研修 ポピンズプロフェッショナル</p>	<p>配慮が必要な子どもの理解と支援 キャリアデザインを考える</p>	オンライン研修	1名
10月14日 12月9日	<p>SDGsで保育はこんなにおもしろくなる 子どもの文化学校</p>	<p>保育の中でSDGsを取り入れる</p>	オンライン研修	1名
12月25日	<p>玩具の遊び方(目的外使用)について こどものとも社 井藤師先生</p>	<p>5つの遊び 玩具ごとの遊び方、 目的外使用 絵本の活用の仕方</p>	鶴ヶ岡すまいる保育園	
1月12日	<p>学びをつなぐ希望のバトンフォーラム 2021 福井県幼児教育支援センター</p>	<p>カリキュラムマネジメントと幼保小接続</p>	オンライン研修	1名
1月19日	<p>新春研修会 虹色なこどもたち~特性理解は自分理解から~ 埼玉県保育協議会</p>	<p>発達障害の考え方</p>	鶴ヶ岡すまいる保育園	1名
1月22日	<p>言語や文化が多様な子どもたちとの保育 東洋大学 ライフデザイン学部</p>	<p>日本語指導が必要な外国籍の児童への支援</p>	オンライン研修	1名
1月31日	<p>地域子育て支援拠点オンライン導入先進事例発表会 埼玉県福祉部少子政策課長 大熊誉隆先生</p>	<p>地域子育て支援拠点でのオンライン導入</p>	オンライン研修	1名
2月2日	<p>子どもの育ちを保障しつつ、安全・安心な環境をつくるために~大人が考えるべきこと~ 一般建築士/こども環境アドバイザー 井上寿先生</p>	<p>子どもの育ちを保障するために幼児教育で大切にすべきこと 子どもの育ちに必要な体験・環境 安心・安全な環境をつくるために</p>	オンライン研修	1名

2月12日	一人ひとりを大切に育てるために~育児担当制の実践~ やまぼうし保育園 吉本和子先生	育児担当制について 担当の決め方、関わり方	オンライン研修	6名
毎月1日	『子どもの栄養』 公益財団法人 児童育成協会	子どもの成長・発達 と食事 子どもの誤嚥や窒息 を予防する	書籍購読	1名

### 【令和3年度 キャリアアップ研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
8月26.27日	保護者支援・子育て支援	ウエスタ川越	2名
1月14.21日	乳児保育	ウエスタ川越	1名
2月22.23日	幼児教育	ウエスタ川越	1名

## 9.苦情解決のうち報告すべき事

- ・ご意見箱や口頭、連絡帳等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応した。

# 令和3年度 高階すまいる保育園 事業報告書

## 1. 令和3年度 総括

開園2年目を迎えるにあたり、職員目標に「自己意識と調和」を掲げ、認可保育所に勤務する職員としての意識とチームワークの強化を図りました。その結果、一人ひとりの足並みが揃うようになり、日々の振り返りの場面でも、各自の意見を出し合い、話を深めることができました。

地域にも園の存在が知れ渡り、ホームページや電話による見学依頼は年間100件程寄せられ、一期一会の精神で丁寧な案内を心がけました。とりわけ、0,1歳児の需要が高く、地域のニーズに応え、毎月の新入園児を受け入れてきました。年度末には在籍児数97名となり、定員(80名)を超える運営に繋がりました。



4月入園式



5月入園式



6月入園式



7月入園式



8月入園式

井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こども環境アドバイザー）にご来園いただき、姉妹園より応援を得て、乳児保育室にロフトとステージを設置しました。小さな子どもたちは、ハイハイで斜面登りに挑戦したり、ロフト下のトンネルをハイハイで通り抜けたり、柱に掴まり、立ち位置を確認するなど心も体もフル回転させて遊んでいます。ステージは、0歳児でも段差があることに気付き、座ったり、ゆっくり登ったり、思い思いの動きを楽しんでいます。フラットな床に、あえて段差をすることで、空間を認知する力・危険を回避する力の基礎を低年齢児から養っています。



ロフト



ステージ

新型コロナウイルス感染予防の観点から、クラス懇談会などの保護者同士の交流が難しい状況にあっても「無理」「出来ない」と諦めるのではなく、どうすれば安全に園行事を開催できるか、季節毎に保護者へアンケートを配信し、様々な意見を踏まえて実施内容を検討しました。参加の仕方を工夫し、子どもの発達と自己肯定感を育むことを第一に考えた活動を行ってきました。



夕涼み会（夏祭り）



水かけ祭り



ハロウィン



親子ふれあい遊び会



ウインターフェスタ



もちつき

地域との交流は難しい状況下にあります。障がい者支援センター「くまのベイカーズ」を年長児が訪問し、花の苗をいただいて大切に育てました。また、地域資源を活用した近隣公園への散歩（園外保育）を積極的に取り入れてきました。

毎週木曜日に実施している子育て支援事業「子育てひろば」は、地域の親子に、園庭・テラス・保育室を提供し、のびのびと遊んでいただく中で、園児との交流を行いました。

今後も園児が職員以外の様々な人と触れ合う機会を設け、経験の幅を広げていくとともに、保護者の皆様と一緒に未来を担う子どもたちを育ててまいります。

## 2. 児童利用状況

### 月別利用児童受託状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	18	19	21	23	24	23	24	24	24	24	24	24
1歳児	28	28	28	28	28	28	27	27	27	27	27	26
2歳児	20	20	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18
3歳児	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
4歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
5歳児	7	7	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5

### 延長保育利用状況(延べ人数) (標準時間、短時間含む)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	101	130	125	111	82	78	142	126	174	133	152	132

### 3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00~8:00	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:00~16:00		最大 8 時間	
夕方延長	16:00~18:00		有 料	土曜日は無し
有料延長	18:00~19:00			

### 4. 職員

#### 3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	13人	保育士	11人	看護師	1人	栄養士	1人	支援センター	0人
パート職員	34人	保育士	22人	看護師	0人	栄養士	2人	支援センター	1人
		調理員	2人	保育補助	7人	嘱託医	2人		

#### 職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍総数	41	41	41	41	41	42	43	44	43	44	44	47
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち保育士正規	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
うち保育士パート	17	17	16	16	16	16	17	17	17	19	19	21
うち看護師	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
うち栄養士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3
うち調理員	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち子育て支援	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
うち産休育休	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち保育補助	3	3	3	3	3	5	5	5	4	3	3	4

## 5. 運営報告

### (5) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にじ会	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
リーダー会	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	3	4

### (6) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上に向けて、組織的かつ体系的な研修計画に基づき、進めてきた</li> <li>・保育者一人ひとりの自己評価を年2回、園の自己評価を年1回実施し、課題を抽出し、改善に向けて取り組む</li> </ul>
安全 WT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内外の環境整備及び保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに努める</li> </ul>
食育 WT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活の基本としての「食を楽しむ ～感謝の気持ちを育む・季節を感じるよう～」をテーマに、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む</li> <li>・保育と給食の一体化を実践し、栄養士、調理員、保育者が連携する</li> </ul>
保護者 WT	保護者の様々な意見に基づいて、相互の理解や信頼を深める
保育 WT	保育理念、保育目標、保育所保育指針に基づいて、子どもの主体性及び非認知能力を伸ばす保育のあり方について、実践を通して議論を重ねつつ学びを深める
地域 WT	地域とともに育ち合える園づくりを目指して、地域との交流を深める

## 6. 保育・処遇

### (1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園便り（号外含む）、キッズリー（公開日誌）、ポートフォリオ、ドキュメンテーション、ブログ等を通じて、保育内容を積極的に伝え、保育の可視化に努めた</li> <li>・送迎時の対話をはじめ、日頃のコミュニケーション、保育参加・個人面談を行い、保護者と子どもの育ちを共有した</li> </ul>
保護者面接 および 発達相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の子どもの状況を共有することで、双方の理解を深めながら、子どもへの関わりや環境について、考える場を設けた</li> <li>・川崎市と連携した巡回発達相談を通して、作業療法士の指導の下、適切な対応に努め、専門家の助言を保育に反映させた</li> </ul>
園児の保護者への支援 および 意見要望への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭による要望、連絡帳の記載内容等、小さな事柄でも保護者が応えやすい聞き取り、保護者の心に響くような伝え方に配慮した</li> <li>・保護者アンケートの集約結果では、保育参加の感想など好意的なものが多く、感謝の気持ちをキッズリーや園便り等で伝えた</li> <li>・保護者の悩みには、子育ての不安を解消できるよう寄り添い、適宜個別面談を行った</li> <li>・来年度の「全体的な計画」立案にあたり、保護者アンケートを実施した</li> </ul>

## (2) 年間行事の振り返り

- ・ 今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染予防を行いながらの行事開催となりました。
- ・ 入園式は二部形式とし、短時間で行ない、行事としては初めてとなる10月の「親子ふれあい遊び会」は、屋上園庭で幼児クラスのみで実施し、12月の「ウインターフェスタ」は午前／午後の二部形式とし、親子で開催することができました。「卒園式」は、今年度も参加者を制限し、感染症対策に配慮した内容にて行ないました。いずれも保護者にアンケートを実施しながら、共同で開催することができました。
- ・ 行事開催は、高階の保育者にとっても初めての経験となり、日々の子どもの姿を行事の中でどのように取り入れていくか、職員間で十分な話し合いを実施しながら、子ども達が意欲的に取り組めるように工夫しました。
- ・ 来年度は、子どもたちが行事を通して、地域の方と繋がっていく機会を設けたいと考えています。

## (3) 給食・食育運営状況

- ・ 個々の発達や生活リズム等に合わせて、和やかに食事が出来るよう、個々の気持ちを尊重した関わりを心がけ、一人ひとりのペースに合わせた食事が摂れるようになりました。
- ・ 乳児クラスは、季節の野菜や食材に触れて、香りや触感などを感じる活動を行いました。
- ・ 幼児クラスは、おやつ等のクッキング活動を通じて、ルールやマナーを守ることや、食材の形態の変化を知る食育活動を行いました。
- ・ 厨房調理員も毎日交代で乳児クラスの配膳を担当し、盛りつけ・配膳・園児への声掛けなどを行いました。
- ・ 園児の食べる様子を給食日誌に記録し、調理過程における切裁や調理、配膳方法などを工夫しました。

## (4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	年2回実施(6月23日・10月27日)
歯科健診	年1回実施(6月30日)
保健だより	毎月児童数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	年度当初：全職員 毎月：0歳児担当・厨房担当者実施
流行した感染症	RSウイルス感染症 感染性胃腸炎(いずれも集団感染には至らず)
その他、保健に関する取組	5月22日、6月5日：普通救命救急講習受講 8月12日、3月30日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

### (ア)安全対策

#### 1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月16日(金)	避難・初期消火	無	無	
5月18日(火)	避難・初期消火	無	無	
6月15日(火)	避難・初期消火・通報	有	有	総合訓練

7月16日(金)	避難・初期消火	無	無	
7月30日(金)	不審者対応	無	無	警察立ち合い
8月18日(水)	避難・初期消火	無	無	
9月15日(火)	避難・初期消火	無	無	
10月15日(金)	避難・初期消火・通報	有	有	総合訓練
11月25日(木)	避難・初期消火	無	無	
12月28日(火)	避難・初期消火	無	無	
1月19日(水)	避難・初期消火	無	無	
2月14日(月)	避難・初期消火	無	無	
3月15日(火)	避難・初期消火	無	無	

## 2. 非常災害備品の設置

- ・ 乳児の人数が増えたため、新たに避難車を2台購入しました。
- ・ 賞味期限を確認して、備蓄用品を点検しました。

## 3. 侵入者、不審者訓練

- ・ 今年度は、初めて警察官の立ち合いの下、不審者訓練を実施しました。
- ・ 来年度も継続していきます。

## 4. 実施した環境整備の状況

- ・ 命のリストによる日々の環境整備について、園内研修にて確認しました。
- ・ 日々の振り返り、昼礼等による各クラスの環境整備を実施しました。
- ・ 井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こども環境アドバイザー）の指導の下、保育環境を整備しました。

### (イ) 地域との関わり

#### ア 子育て支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、地域との交流は控え、外掲示板・自治会の回覧板にて、園だよりを配布させていただき、園の様子やお知らせを発信しました。
- ・ ブログやインスタを通じて、多くの方へ園の様子を発信しました。

#### イ ひろば事業

- ・ 毎週木曜日【10:00～11:30】つどいの広場の部屋をはじめ、園庭・各保育室、テラスの開放にて、多くの地域の方にご参加いただきました。
- ・ 製作やイベントの開催（クリスマス会、園外活動、手形・足形アート）も行いました。

#### ウ 一時預かり事業

- ・ 就労（7名）・リフレッシュ保育での利用（在園児と同じ空間での保育）・短時間保育等、各需要が大変多くありました。
- ・ 一時預かり利用者の延べ人数は約600名となり、地域のニーズに応えながら実施しました。
- ・ 就労のご家庭から、入園の希望が非常に多く寄せられました。

## ① 危機管理

- ・ 毎日の昼礼にて、インシデントやヒヤリハットとして、事故に繋がりそうなものを報告し合い、共有してきました。
- ・ リスクの高い事例に関しては、具体的な対策が取れているかどうか確認し、不十分であった場合には、対策を講じてきました。
- ・ 他園で発生した事故事例等について、姉妹園の代表者が集まる安全委員会等を通して共有し、自園の対応を話し合いました。
- ・ 新しくロフトを製作したり、リスクを伴う遊具を設置したことにより、改めて子どもたちと一緒に遊び方を考えるなど、子どもの安全力を高める機会となりました。
- ・ 安全に関するチェックや見守り方など、園内研修や話し合いを通して、共有してきました。
- ・ 園外保育（散歩等）での安全管理、見守り方、経路などを園内研修で共有したり、実際に歩いてルートの確認を行ないました。

## ② 職員研修(園内研修)

【令和3年度 内部研修実績】

実施日	研修内容	参加人数
5月8日	★姉妹園（伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目）合同研修 ※ZOOM 合同研修 テーマ「多様な仲間の理解」保護者との関係を考える 講師 一般社団法人チャイルドフード・ラボ 代表理事 藤原里美氏  ・個人情報 ・守秘義務の重要性 ・乳幼児突然死症候群（SIDS）予防 ・アレルギー対応 ・誤飲、誤嚥予防 ・人権について	24名
5月22日 6月5日	普通救命救急講習会	21名
6月19日	★姉妹園合同研修 ※ZOOM 合同研修 ・保育部会各委員会報告 ・グループディスカッション ・法人本部より	19名
7月15日	★姉妹園合同研修 井上先生ワークショップ	21名
8月28日	・上半期大掃除 ・環境整備 ・電話対応 ・人権擁護マニュアル ・保育評価スケール	23名
10月2日	・虐待 ・クオーレ ・事務連絡 ・ポートフォリオ ・嘔吐処理 ・行事について	22名
11月27日	★姉妹園（伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目）合同研修 ※ZOOM 合同研修 テーマ「わらべうたを教材とした音楽表現の活動について」 講師 秋草学園短期大学教授 長谷川恭子氏  ・子どもの発達 ・保育環境 ・移行期の保育 ・感染症対策	18名
12月18日	・テーマ「玩具の選び方」 講師：こどものとも社 井藤氏	24名
12月25日	・年末大掃除 ・ブログ ・ドキュメンテーション ・チャイルドケアウェブ ・グループディスカッション	27名
2月26日	★姉妹園合同研修 ※ZOOM 合同研修 ・本部通達 ・保育部会各委員会報告 ・にこちゃんマニュアル差し替え ・全体的な計画及び年間保育計画立案 ・グループディスカッション	20名
3月26日	・新年度準備	24名

【令和3年度 外部研修実績】

実施日	講師	研修内容	会場	参加人数
5月12日	子どもの文化	1歳児クラスの教室 1歳児の発達の特徴と保育 心と身体の発達を知り、保育実践へ	ZOOM	1名
6月2日	子どもの文化	1歳児クラスの教室 1歳児の発達の特徴と保育 心と身体の発達を知り、保育実践へ	ZOOM	1名
6月30日	子どもの文化	1歳児クラスの教室 1歳児の発達の特徴と保育 心と身体の発達を知り、保育実践へ	ZOOM	1名
7月7.8日	星野優美子氏	PCM basicセミナー	ZOOM	1名
7月14日	子どもの文化	1歳児クラスの教室 1歳児の発達の特徴と保育 心と身体の発達を知り、保育実践へ	ZOOM	1名
7月31日	汐見稔幸氏 大豆生田敬友氏	保育をどうしよう未来会議	ZOOM	2名
7月31日	日本保育協会	第61回関東ブロックオンデマンド	ZOOM	1名
9月1日	子どもの文化	1歳児クラスの教室 1歳児の発達の特徴と保育 心と身体の発達を知り、保育実践へ	ZOOM	1名
9月9日	井桁容子氏	保育でつむぐ子どもと親のいい関係 ～今大切な保護者支援とは～	ZOOM	5名
9月22日	子どもの文化	1歳児クラスの教室 1歳児の発達の特徴と保育 心と身体の発達を知り、保育実践へ	ZOOM	1名
10月6日	子どもの文化	1歳児クラスの教室 1歳児の発達の特徴と保育 心と身体の発達を知り、保育実践へ	ZOOM	1名
10月27日	子どもの文化	1歳児クラスの教室 1歳児の発達の特徴と保育 心と身体の発達を知り、保育実践へ	ZOOM	1名
11月8日	子どもの文化	思いから始まる保育環境	ZOOM	1名
11月13日	瀧 薫 氏	こどものとも社 物語、絵本、ファンタジーの遊びが豊かになるために	ZOOM	7名
11月18日	汐見稔幸氏 大豆生田敬友氏	ルクミー 秋の研修会	ZOOM	2名
11月24日	子どもの文化	1歳児クラスの教室 1歳児の発達の特徴と保育 心と身体の発達を知り、保育実践へ	ZOOM	1名
11月29日	子どもの文化	思いから始まる保育環境	ZOOM	1名
12月8日	子どもの文化	1歳児クラスの教室 1歳児の発達の特徴と保育 心と身体の発達を知り、保育実践へ	ZOOM	1名
12月7日	増田修二氏 帆足暁子氏	私立保育園研修会	ZOOM	5名
12月8日	子どもの文化	1歳児クラスの教室 1歳児の発達の特徴と保育 心と身体の発達を知り、保育実践へ	ZOOM	1名
12月20日	子どもの文化	思いから始まる保育環境	ZOOM	1名
12月21日	コドモン	コドモン ドキュメンテーション研修	ZOOM	1名
1月22日	内田千春氏	東洋大学ライフデザイン学部 言語や文化が多様な子どもたちとの保育	ZOOM	2名
2月12日	吉本和子氏	こどものとも社 一人ひとりを大切に育てる保育 ～育児担当制の実践～	ZOOM	4名
2月20日	内田早苗氏	こどものとも社 待ちよみ絵本『月間絵本の魅力』	ZOOM	1名
2月27日	内田早苗氏	こどものとも社 待ちよみ絵本『月間絵本の魅力』	ZOOM	18名
3月9日	埼玉県	虐待サポーター研修	ZOOM	1名

### 【令和3年度 キャリアアップ研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
9月27日 10月18日 11月18日	保育実践	オンライン	2名
7月1.2日 8月26.27日 12月3.4日	保護者支援・子育て支援	オンライン ウエスタ川越	4名
9月18.20日 3月3.5日	食育・アレルギー対応	ウエスタ川越 春日部市民文化会館 JA共済埼玉ビル	3名
6月11.18日 9月1.2日 11月8.15日 12月10.13.14日	幼児教育	上尾市文化センター ウエスタ川越	5名
10月22.23日 11月9.12.13 2月8.9日	マネジメント	坂戸文化会館 オンライン JA共済埼玉ビル	3名
11月18.25日 1月15.22日 1月25.26 2月10.15日 2月16.25日	保健衛生・安全対策	ウエスタ川越 行田市商工センター 秋草学園短期大学 春日部ふれあいキューブ	6名
11月9.12 11月16.19日	障害児保育	ソニックシティビル 東上パールビルディング	2名
10月6.7日 1月14.21日	乳児保育	東上パールビルディング ウエスタ川越	3名

### 【令和3年度 子育て支援員研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
10月11.28日 11月4.16.18日	地域保育コース一時預かり事業	ウエスタ川越	5名
10月13日 11月2.5.9.12	地域型保育コース	ウエスタ川越	1名

### 【令和3年度 自主研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
9月24日.10月28日.11月25日.12月23日	保育環境ラボ	姉妹園毎にオンライン	5名

### ③ 苦情解決のうち報告すべき事項

- ・ ご意見箱や口頭、連絡帳等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応しました。
- ・ ケースに応じて、法人本部に報告・相談し、指示を仰ぎながら対応しました。

# 令和3年度 とりのすまいる保育園 事業報告書

## 1. 令和3年度 総括

開園2年目を迎え、19名定員から30名定員となり、1階の保育室をにこにこ（乳児、未満児）3階の保育室をわくわく（幼児）と分かれて生活をしている。

異年齢で関わりながらも、個々の発達を意識し子どもたちの興味、関心をみて環境を整え、子どもたちの「やってみたい！」を引き出す活動や、あきらめずに頑張る粘り強さを支え、「できた！」の喜びや達成感を一緒に共感しながら主体性を育む保育を展開していけるように取り組んでいる。

にこにこ組では、テラスは活用し寒い冬の時期以外は窓を開放して四季の移ろいを感じています。少し高さのある台に登ったり降りたりして身体をたくさん動かしてあそび、満足すると自ら部屋に入り、つみきやままごと、パズル電車遊びをしたり、絵本を見ながらくつろぐ姿もあった。



わくわく組では、さまざまな経験ができるよう機会を設けてきた。姉妹園交流では、鶴ヶ岡すまいる保育園、伊佐沼すまいる保育園、高階すまいる保育園と季節の行事や、異年齢ならではの活動、子どもたち同士の交流を深めてきた。4月に行ったどろんこ祭りでは、高階すまいる保育園の幼児クラスの子どもたちとともに参加し、普段の生活では経験することのできない泥の感触を全身で味わうことができた。またたんぼで見つけたカエルを持ち帰り、飼育した。ほかにも姉妹園と協力し、メダカやグッピー等も飼育し、生き物との関わりや季節や自然と関わりながら過ごすことができた。食育活動では、子どもたちと相談しながら野菜を苗から育てたり、収穫し調理し食べる経験もすることができた。



コロナ禍が続く今年度も、外部の方や保護者の方が参加できる行事は中止し、園内で保育者と子どもで楽しむようにした。夏の夕涼み会では音楽やリズムに親しみ、秋はふれあい遊び会の代わりに「にこわくウィーク」と題して身体を動かす遊びを中心に、冬のウィンターフェスタは一週間に渡り出席しやすくクリスマスにちなんだ音楽や製作を楽しんだ。節分ではお正月の伝統遊びも取り入れ、3丁目公園で凧揚げごっこや豆まきごっこなどの伝統遊び、伝統行事を遊びに取り入れながら体験した。

今年度もポートフォリオで子どもたち一人一人の様子を保護者とやり取りして伝え合い、キッズリーを使ってクラス全体の様子を保護者に伝えた。保育が見えることで保護者の不安を軽減し、信頼関係の構築を目指した。



## 2. 児童利用状況

### 月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	1	2	2	3	3	4	4	4	4	4	4	5
1歳児	6	6	5	5	6	7	6	6	6	6	6	5
2歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6
3歳児	6	6	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6
4歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	25	26	26	27	28	30	28	28	29	29	29	29

## 3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大 11 時間	最大 8 時間	
通常保育	8:00～16:00			
夕方延長	16:00～18:00			
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

## 4. 職員

### 3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	4人	保育士	3人	看護師	0人	栄養士	0人	事務	1人
パート職員	12人	保育士	2人	看護師	1人	栄養士	0人	事務	0人
調理員	0人	嘱託医	0人						

## 5. 運営報告

### (1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
リーダー会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フリー会	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

### (2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む
保育 WT	活動が豊かに展開されるように、書類の作成、CCW の活用、研修を受けて環境の見直しなどを行う 実践を通して、議論を重ね学びを深める

## 6. 保育・処遇

### (1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の振り返りを行い、子どもたちの興味、関心を職員で対話して継続していく保育になるよう努めた</li> <li>・園だより、キッズリー、ポートフォリオ、ドキュメンテーション、ブログ等を通じて保育内容を積極的に伝え、保育の可視化に努めた</li> </ul>
保護者面接および発達相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時の対話、連絡ノートでコミュニケーションをとり、保育参加の際、個人面談を行い、保育園での生活の様子や、子どもの育ち、発達を共有した。</li> <li>・保護者の悩みなどは、適宜個別面談を行う</li> </ul>
園児の保護者への支援および意見要望への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭による要望、連絡ノートの記載内容等、小さな事柄であっても保護者の立場に立って伝え方に配慮し、丁寧に関わることを大切にした</li> <li>・外国籍の方へは通訳アプリや、英訳をした手紙などでわかりやすく誤解のないように伝えていった</li> <li>・保護者アンケートの集約の結果、保育参加の感想ではとても好意的な回答が多くあった</li> <li>・次年度の保育計画立案にあたり、保護者アンケートを実施</li> </ul>

## (2) 年間行事の振り返り

・今年度も新型コロナウイルス感染予防対策で保護者の参加はできなかった。保護者会の役員の方々のご厚意で、夕涼み会・ハロウィン・ウィンター用の装飾をしていただいたことで、気持ちも盛り上がり、フォトスポットとしても好評だった。

・日々の保育が行事につながり、幼児クラスでは、子どもの発想を大切に、自分たちで衣装を縫いファッションショーを行い、子どもたちの体験の幅を広げ、意欲的に取り組んでいた。

・地域への配信も今年度は積極的にはできなかったが、公園を利用させていただき、ふれあい遊びや伝承遊びでは子どもの数が多くならないように、一週間で計画し、室内、三丁目公園に環境設定をして、季節の行事を楽しんでいた。



写真スポットなど、作っていただきました。

## 給食・食育運営状況

・個々の発達や生活リズムに合わせて和やかに食事ができるよう、個々の気持ちを尊重した関りを心掛けた。

・毎月、旬の食材を意識し、皮むきや洗浄などで本物の食材に触れることで、匂いや感触を感じることが出来た。

・屋上園庭の畑、テラスのプランターで野菜を育て、成長をたのしみに日々水やりや観察をし、収穫して洗い、調理して食べることができた。



にこにこクラスは夏の間きゅうりが沢山取れ、新鮮なきゅうりを塩もみなどで食べたことにより、全員きゅうりが大好きになった。

・給食の時にメニューを丁寧に伝えたり、食材の写真を貼り、興味を持てるよう工夫していった。

・食事中的子どもたちの様子をしっかり見守るために、「食事中的心がけ」を見ながら食事の援助、見守りを行っている。見守り方を共有することで、姿勢や足の位置、を意識することができ、誤嚥防止、事故防止、に繋がっている。

## (3) 保健に関する実施結果

園児健康診断	6月8日と10月5日の2回実施
歯科検診	6月9日の1回実施
保健だより	毎月家庭数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	毎月、乳児、配膳担当、厨房担当実施
流行した感染症	・胃腸炎やRS ウィルス、風邪など季節ごとに感染する子どもが見られたが、いずれも集団感染には至らず ・新型コロナウイルスは PCR 検査をする方はいたが、いずれも陰性の結果となっており、子どもの感染者はなかった ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国の指針に基づき対応をする
その他、保険に関する取組	5月29日、6月12日、26日、7月10日普通救命救急講習受講 8月12日、13日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

## (4) 安全対策

### ア 防災対策

#### 1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日(月)	地震・火災・消火	無	無	
5月14日(金)	地震・火災・消火	無	無	
6月15日(火)	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
7月16日(金)	地震・火災・消火	無	無	
8月16日(月)	地震・火災・消火	無	無	
9月15日(水)	地震・火災・消火	無	無	
10月15日(金)	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
11月15日(月)	地震・火災・消火	無	無	
12月15日(水)	地震・火災・消火	無	無	
1月14日(金)	地震・火災・消火	無	無	
2月18日(金)	地震・火災・消火	無	無	
3月15日(火)	地震・火災・消火	無	無	

#### 2. 非常災害備品の設置

4人乗り散歩車、災害用ヘルメット

保護者会より

カセット式コンロ、カセットガス、非常食、保存水、簡易トイレ、簡易ポンチョ、ブルーシート、アルミシート、紙皿、プラスチックスプーン

#### 3. 侵入者、不審者訓練

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、警察官立ち合いの不審者訓練は実施に至らず。

#### 4. 実施した環境整備の状況

・今年度から定員が30名となったことから、1階保育室を乳児と未満児のにこにこ、3階保育室を幼児のわくわくと分けて生活をしている。「遊・食・寝」を独立して行える環境にすることを意識し、環境設定を行った。環境ラボに参加し、子どもたちの発達を考えながら玩具、絵本を増やしていった。

にこにこの保育室では、子どもたち一人一人が主体的に活動できるように興味、関心を見ながらコーナーを設置した。

わくわくの保育室ではカエル、メダカ、ザリガニの飼育を始め、図鑑を見ながら学びを広げていた。

カプラゾーン、LaQゾーン、を作ったことで、作品を展示したいとの子どもからの声で展示できるひな壇を作り、個人のカードを置いて飾る姿があり、主体的に遊びを繰り返している。

そのほかにも、子どもたちの興味関心に寄り添いながら、少しずつ環境を整えてきた。

・命のリストによる日々の環境整備

## (5) 地域との関わり

### 市、自治会への参加

- ・毎月第一日曜日に複数名の保育士で地域清掃

### 公益的な取り組み

「つながる相談窓口」開設      ステッカー、のぼりの設置      「衣類バンク」

保育年間計画の可視化      可視化して保護者に掲示

### 子育て支援

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域との交流は控え、外掲示板、自治会への園だより配布を通して園の様子やお知らせを発信した。
- ・ホームページ、Instagramなどを通じ多くの方へ園の様子を発信した。

### ひろば事業

- ・週2回程度（10：00～12：00）支援センター・屋上園庭の開放、制作（手形、足形アート）身体測定、イベント（夏祭り、クリスマス会等）多くの地域の方にご参加いただいた。

### 一時預かり事業

- ・就労、リフレッシュ、緊急預かり、通院等
- ・今年度は外部の方の利用者がふえてきている。

## (3) 危機管理

- ・毎月安全WTによるヒヤリハットの分析を行う。リスクの高い事例に関しては、具体的な対策などを話し合って次の事故防止に努めた。
- ・命のリストで園の見回りを毎日行うことで、保育者一人一人が小さなことに気づき、声を上げることによって、安全な環境づくりにつながる。
- ・他園で起きた事故事例を確認し、注意喚起を行うとともに、姉妹園の代表が集まる安全委員会を通して共有し、自園の対応を話し合った。
- ・誤嚥事故を防ぐために、「食事中心掛け」を共有し、食事の見守り方や食後の口腔チェックを徹底した。
- ・園外保育（散歩等）での安全管理、見守り方、経路など散歩日誌を記入する。

#### (4) 職員研修(園内研修)

三丁目すまいる保育園と合同

実施日	研修内容	参加人数
4月 3日	・環境設定	24名
5月 8日	・熱中症、病気対応、既往歴、与薬の流れ、虐待、人権（子ども・大人）、誤飲・誤嚥、アレルギー対応について、玩具の誤飲・誤嚥、SIDSのやり方、個人情報のディスカッション、送迎時の保護者・電話対応、散歩マニュアルを更新・藤原里美先生研修	30名
5月29日 6月12日	普通救命講習	21名
6月19日	・内部研修（委員会発表）	26名
6月26日 7月10日	普通救命講習	20名
8月28日	・大掃除	35名
10月2日	・園内研修（掃除）	20名
10月9日	・園内研修（ポートフォリオ・ドキュメンテーションづくり）	10名
11月27日	・9:00～11:00 わらべ歌実践研修 ・11:10～11:45 感染症（嘔吐処理・インフルエンザの対応） ・13:15～18:00 自己評価・人権・虐待について ・新しい環境について・ウインターフェスタの準備	29名
12月25日	・9:00～10:00 井藤さん講義「おもちゃの遊び方」 ・10:10～10:50 外部研修報告 ・9:00～18:00 大掃除	24名
2月26日	・ ・ ・ ・	名
3月26日	・ ・ ・ ・	名

## (5) 外部研修

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
7月25日	久保隼人	保護者の理解と感情をコントロールする技術		1名
7月24日	中道 道子	自分をコントロールする力を育む		1名
7月1日	第6回関東ブロック 保育研究大会	すべての子どもと子育てに関りを持つ社会の実現を目指して		1名
8月6日	保育のための安全 対策講座	安全への感覚（危険予知能力）を高める		1名
8月26日	乳児保育研修会	コロナ禍の保育・未来を見据えた保育者の専門性		1名
11月13日	瀧 薫	物語・絵本・ファンタジーの遊びが豊かになるために		15名
11月18日	埼玉県保育士会 秋の研修会	子どもの主体の保育の理解促進		1名
11月25日		パネルシアターを通して、人と応答する楽しさやつながり合う喜びを味わう環境づくりや遊びについて	フクトピア	2名
10月6日～	令和3年度企業主 導型保育事業 保 育安全研修	科目視聴、確認テスト 科目レポート	e-ラーニング	1名
12月4日	アート展2021		アルテ子どもと木幼稚園	3名
10月21日 1月21日	令和3年度企業主 導型保育事業 施設長研修	科目視聴、確認テスト 確認レポート オンライン意見交換 最終レポート	e-ラーニング  ZOOM	1名
1月22日	東洋大学オンライン 講習	言語や文化が多様な子どもたちとの保育	ZOOM	1名
1月18日	第2回社会貢献活 動推進連絡会議	「SDGsの自分ごと化」		1名
1月27日	ふじみ野市相談支 援包括化推進会議	「外国ルーツの支援について」	ZOOM	2名
2月10日	児童虐待防止サポ ーター研修	児童虐待の防止法を保護者に伝える		1名
2月12日	吉本和子	一人ひとりを大切に育てるために		9名
2月1日～	日本保育協会	実践に活かす保育指針セミナー 子どもの育ちにとっての保育の質		名
2月21日～	社会福祉協議会	「選べる」福祉職員組織力向上研修		名

## **(6) 苦情解決のうち報告すべき事項**

- ・ご意見箱や口頭、連絡ノート等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応
- ・ケースに応じて、法人本部に報告、相談、指示を仰ぎながら対応